

Sound Blaster Omni Surround 5.1

サラウンド設定ガイド



Sound
BLASTER® **OMNI**
SURROUND 5.1™

Sound Blaster Omni Surround 5.1 サラウンド設定ガイド

このガイドは、Sound Blaster Omni Surround 5.1 の最新版ドライバーがインストールされているパソコン環境を前提に作成されています。最新版ドライバーのインストールを行っていない場合には、このガイドをお読みになる前に弊社ホームページのダウンロードページ (<http://jp.creative.com/support/downloads/>) から最新版の Sound Blaster Omni Surround 5.1 用ドライバーのダウンロードを行なってインストールを完了させておいてください。

[ご利用の接続方法により、下記のページにてご確認ください。]

- 5.1 チャンネル対応ゲームをアナログ 5.1 チャンネルスピーカーで楽しむための設定 -----P1
- 5.1 チャンネル対応ゲームをデジタル出力 (Dolby Digital Live) で楽しむための設定----P3

本書の内容は、改良のため予告無く変更される場合があります。Creative Technology Ltd. の責務を表すものではありません。本書記載内容に不備や不適切な表現があり、お客様の誤解を招いた場合でも、Creative Technology Ltd. およびクリエイティブメディア株式会社では一切の保証を致しかねます。Creative Technology Ltd. またはその関係会社は、いかなる場合においても直接的、間接的、付随的、結果的のいずれかにより生じたビジネス上の利益の喪失、データの喪失、懲罰的損害賠償または特別な損害賠償について、Creative Technology Ltd. またはその関係会社がそうした損害の発生可能性を通知されていた場合であっても、一切の責任を負いません。電氣的または、機械的の別やその形式や方法を問わず、どのような目的であれ、本書のいかなる部分も Creative Technology Ltd. との書面による許可を得ることなく、複製したり伝送したりすることは出来ません。これには写真複写や録音も含まれます。

Creative、Creative ロゴ、Sound Blaster、SBX Pro Studio、SBX ロゴおよび ALchemy ロゴは Creative Technology Ltd. の米国またはその他の国々における商標または登録商標です。その他全てのロゴ、ブランド、製品名などは該当する所有者の登録商標または商標です。

第1版

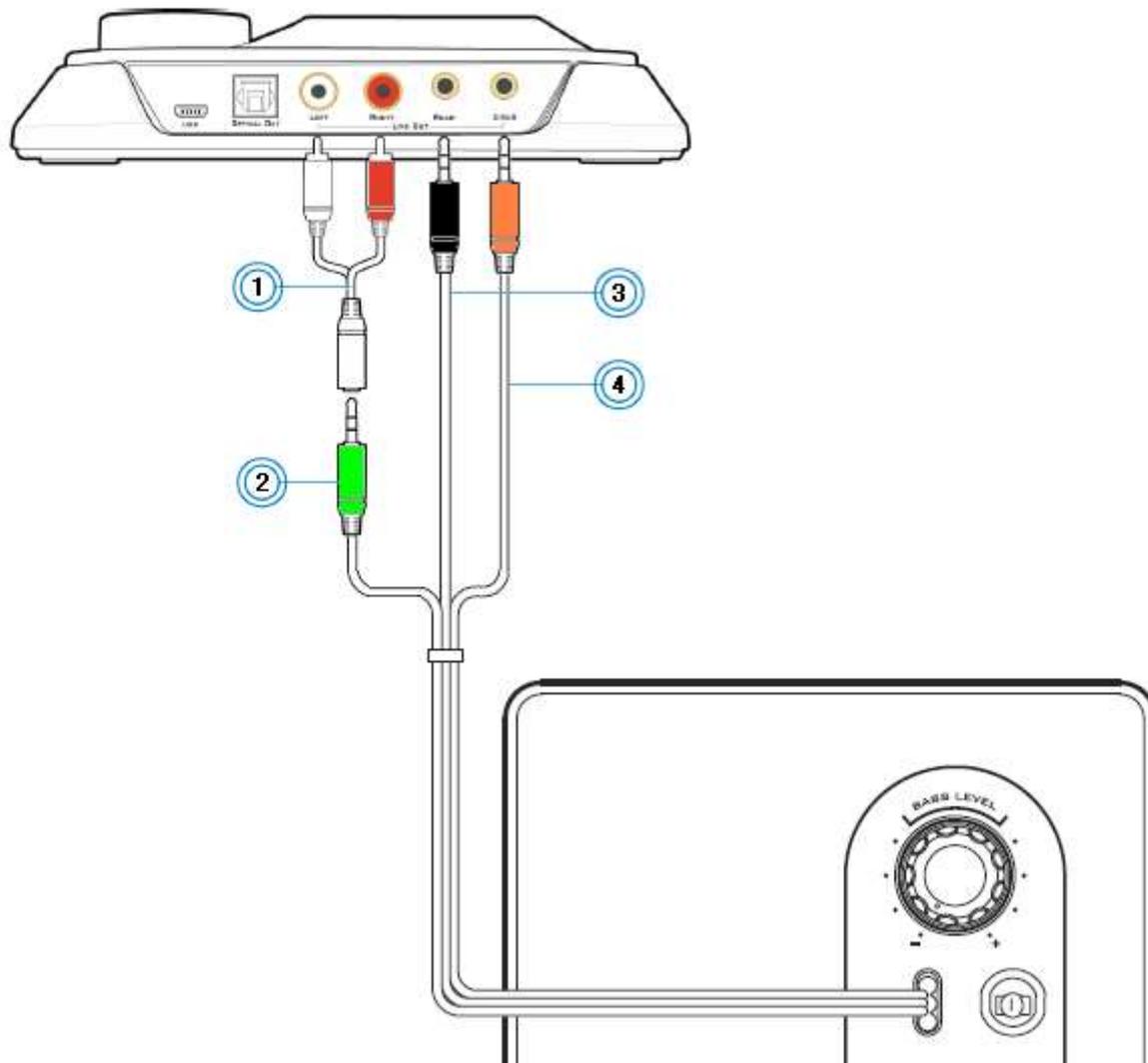
2014年2月

■ 5.1 チャンネル対応ゲームをアナログ 5.1 チャンネルスピーカーで楽しむための設定

- 5.1 チャンネルスピーカーとの接続

Sound Blaster Omni Surround 5.1 には、フロント出力 (RCA) 、リア出力 (3.5mm ミニ) 、センタースピーカー/サブウーファー出力 (3.5mm ミニ) を搭載しています。これらの端子へ対応するアンプ内蔵の 5.1 チャンネルアナログスピーカーシステム (Creative Inspire T6300 など) を接続すると、5.1 チャンネル対応のゲームなどで 5.1 チャンネルサラウンドを楽しむことができます。

アナログスピーカーは Sound Blaster Omni Surround 5.1 背面にある各出力端子に対応するチャンネルのオーディオケーブルを接続してください。ここでは Creative Inspire T6300 との接続例を示します。



- ① Sound Blaster Omni Surround 5.1 に付属の「3.5mm ミニステレオ-RCA 変換ケーブル」
- ② スピーカーシステムのフロントスピーカー入力 (LEFT および RIGHT 端子へ接続)
- ③ スピーカーシステムのリアスピーカー入力 (REAR 端子へ接続)
- ④ スピーカーシステムのセンター/サブウーファー入力 (C/SUB 端子へ接続)

※お使いのスピーカーシステムの端子仕様によっては変換ケーブルなどが必要になります。必要に応じて別途ご用意ください。

- Sound Blaster Omni Surround 5.1 の 5.1 チャンネル出力の設定を行う

5.1 チャンネルスピーカーを接続しただけでは、5.1 チャンネルサラウンド対応ゲームをプレイしても正しく出力されません。Sound Blaster Omni Surround 5.1 の設定を行って 5.1 チャンネル出力ができるように設定をしましょう！

Sound Blaster Omni Surround 5.1 の 5.1 チャンネル出力の設定方法

1. スタート画面やスタートメニューから[Sound Blaster Omni コントロールパネル]を起動します。
2. [スピーカー/ヘッドフォン]タブをクリックします。



3. [スピーカー/ヘッドフォンの構成]に[5.1 サラウンド]を選択します。



※音が出ない場合、Windows の[コントロールパネル]>[ハードウェアとサウンド]>[オーディオデバイスの管理]で SB Omni Surround 5.1 の[スピーカー]が既定のデバイスとして設定されている事（緑色のチェックが付いている状態）を確認してください。

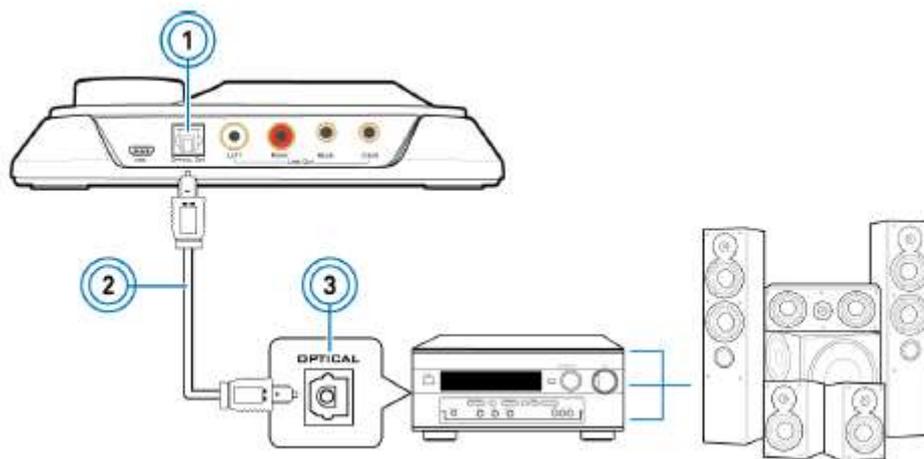
※ Sound Blaster Omni Surround 5.1 のインストールについては、製品に付属のクイックスタートなどをご参照ください。ゲームやアプリケーション内でサラウンド再生の設定が存在する場合には、適宜設定を行ってください。

■ 5.1 チャンネル対応ゲームをデジタル出力（Dolby Digital Live）で楽しむための設定

- Dolby Digital 対応オーディオシステムとの接続

Sound Blaster Omni Surround 5.1 は、Dolby Digital 出力が可能な光デジタル出力（角型）を搭載しています。光デジタルケーブルを使用してこの端子と Dolby Digital 対応のホームシアターシステムなどへ接続すると、5.1 チャンネル対応のゲームなどで 5.1 チャンネルサラウンドを楽しむことができます。

光デジタル出力端子は Sound Blaster Omni Surround 5.1 本体背面にあります。



① Sound Blaster Omni Surround 5.1 の光デジタル出力端子（角型）

② 光デジタルケーブル

③ Dolby Digital 対応ホームシアターシステムなどの光デジタル入力端子

※光デジタルケーブルは Sound Blaster Omni Surround 5.1 に付属していません。この接続方法を行う場合には、別途ケーブルをご用意ください。

- Sound Blaster Omni Surround 5.1 の 5.1 チャンネル Dolby Digital 出力の設定を行う

光デジタル接続を行っただけでは、5.1 チャンネルサラウンド対応ゲームをプレイしても正しく出力されません。Sound Blaster Omni Surround 5.1 の設定を行って 5.1 チャンネル出力ができるように設定をしましょう！

Sound Blaster Omni Surround 5.1 の 5.1 チャンネル出力と Dolby Digital 出力の設定方法

1. スタート画面やスタートメニューから[Sound Blaster Omni コントロールパネル]を起動します。
2. [スピーカー/ヘッドフォン]タブをクリックします。



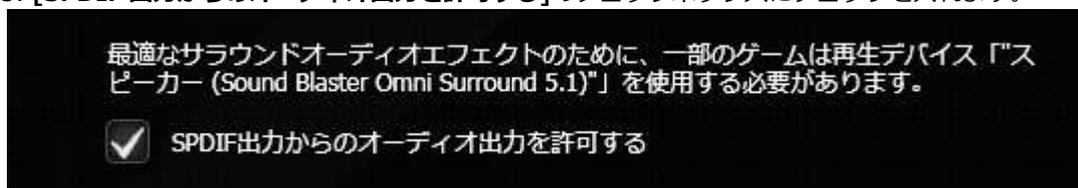
3. [スピーカー/ヘッドフォンの構成]に[5.1 サラウンド]を選択します。



4. [シネマティック]タブをクリックします。

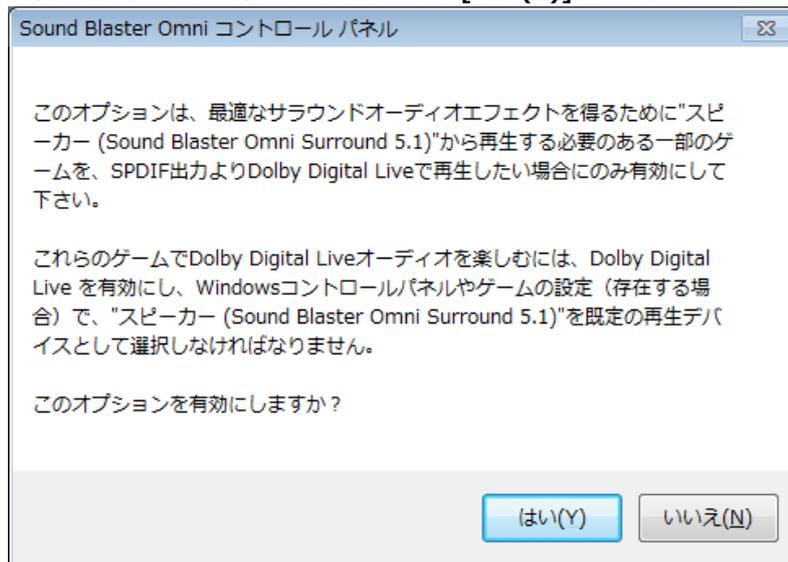


5. [SPDIF 出力からのオーディオ出力を許可する]のチェックボックスにチェックを入れます。

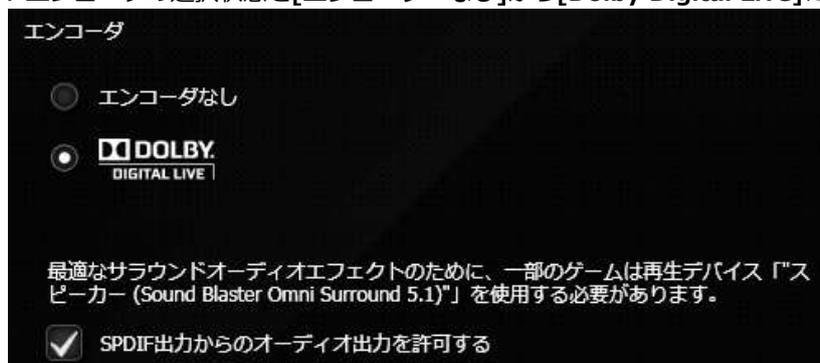


※[SPDIF 出力からのオーディオ出力を許可する]のチェックボックスが表示されない場合、最新のドライバーがインストールされていません。弊社ホームページのダウンロードページ (<http://jp.creative.com/support/downloads/>) から最新版のドライバーをダウンロードしてインストールしてください。

6. 確認のメッセージが表示されますので、**[はい(Y)]**をクリックしてください。



7. エンコーダの選択状態を**[エンコーダなし]**から**[Dolby Digital Live]**に切り替えます。



※音が出ない場合、Windows の[コントロールパネル]>[ハードウェアとサウンド]>[オーディオデバイスの管理]で SB Omni Surround 5.1 の[スピーカー]が既定のデバイスとして設定されている事（緑色のチェックが付いている状態）を確認してください。

※ Sound Blaster Omni Surround 5.1 のインストールについては、製品に付属のクイックスタートなどをご参照ください。ゲームやアプリケーション内でサラウンド再生の設定が存在する場合には、適宜設定を行ってください。